

2026 年度

高知大学大学院 総合人間自然科学研究科

看護学専攻（修士課程）

〈第 1 次募集〉

（一般選抜）入学者選抜試験

専門科目（母子看護学〔実践助産学〕） 問題冊子

この表紙をよく読んでください。ただし、試験開始の合図があるまではこの冊子を開いてはいけません。

以下の〈解答上の注意事項〉をよく理解した上で解答してください。

〈解答上の注意事項〉

1. 受験票を机の上に置いてください。
2. 試験開始の合図の後、まず解答冊子の受験番号欄に受験番号を記入してください。
3. 試験時間は 60 分（9：30～10：30）です。
4. 問題冊子は 1～3 ページです。解答冊子は 1 ページです。
5. 解答はすべて解答冊子の所定の欄に記入し、解答冊子を切り離さないよう注意してください。
6. 冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等により解答に支障がある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
7. 試験終了後、解答冊子のみを回収します。問題冊子は持ち帰ってください。
8. 試験終了時刻までに解答が終わっても途中退室はできません。

I 次の文を読んで正しいものに○、誤っているものに×をつけなさい。(各1点, 計10点)

1. 超音波断層法により, 妊娠5週で胎嚢をみとめる。
2. 子宮底長の計測時は仰臥位で両下肢を屈曲させる。
3. 母子健康手帳の交付は母子保健法で規定されている。
4. 周産期死亡率は, 1年間の出産10,000に対する周産期死亡数であらわす。
5. デュボヴィツスコアは, (身体) 外表所見と神経学的所見からなる。
6. 新生児マススクリーニング検査は尿中の代謝産物を直接測定するタンデムマス法により行われる。
7. 新生児の睡眠と覚醒の状態 (state ステート) で, state4は「まどろみ (状態)」である。
8. 臍帯には臍帯動脈が2本, 臍帯静脈が1本ある。
9. 妊産婦にかかる危険有害業務の制限は労働基準法で規定されている。
10. ビショップスコアが10点以上で子宮頸管が熟化していると判断する。

II ()に適切な語句または数値を記入しなさい。(各3点, 計30点)

1. 出生届は生後 (①) に届け出ることが定められている。
2. 卵膜は (②) (③) (④) の3層から形成される。
3. 不妊手術と人工妊娠中絶については (⑤) に定められている。
4. 出生体重が (⑥) の児を低出生体重児という。
5. 最初は正常だった陣痛が分娩経過中に微弱になったものを (⑦) 陣痛という。
6. (⑧) とは児頭と骨盤の大きさに不均衡があり分娩進行が妨げられる状態をいう。
7. 溶血・肝酵素上昇・血小板減少を3主徴とする症候群を (⑨) という。
8. (⑩) は肺サーファクタントの産生が不十分なことにより発症する。

Ⅲ 次の文を読んで設問1～5に答えなさい。(各5点, 計25点)

Aさん33歳。職業は会社の事務員。身長160cm, 非妊時体重53kg, 夫と5歳になる長女の3人暮らし。最終月経は2025年3月2日から6日間であった。既往歴はない。妊娠歴は29歳の時に流産を経験している。

妊娠36週3日, 妊婦健診で体重が前回の健診より1kg増加している。体重64kg, 血圧130/66mmHg, 尿蛋白(-), 尿糖(-), 浮腫(+), ヘモグロビン(Hb)11.2g/dℓ, ヘマトクリット(Ht)30%, 子宮底31cm, 腹囲90cm, 推定体重2,984g。

NST(ノンストレステスト)の所見は, 胎児心拍数基線110~120bpm, 基線細変動があり, 基線より15bpm以上増加し1分以内に基線に戻る頻脈Ⓐが数回みられた。一過性徐脈はみられなかった。胎児心音は, 母体の左臍曲線中央で聴取された。

設問1: Aさんの非妊時BMI(ボディ・マス・インデックス)を答えなさい。

設問2: Aさんの分娩予定日を答えなさい。

設問3: 身体活動レベルⅡのAさんに必要な1日の摂取カロリーを答えなさい。

設問4: 下線Ⓐの所見を何というか答えなさい。

設問5: Aさんのアセスメントと対応で正しいものをすべて選びなさい。

1. 妊娠高血圧症候群である
2. 妊婦貧血はない
3. 妊娠中の体重増加量は, 推奨体重増加量を超えており体重管理についての指導が必要である
4. 胎児は第一胎向である
5. NST(ノンストレステスト)の所見はリアシュアリングである
6. 胎児の発育異常が疑われる
7. バースプランを確認する
8. 次回の健診は, 2週間後である

IV 次の文を読んで設問 1～5 に答えなさい。(各 5 点, 計 25 点)

B さん経産婦 30 歳。39 週 3 日の 8 月 7 日 9:30 に 10 分毎の子宮収縮が出現したため病院に連絡し、10:40 に入院となった。分娩は順調に経過し 8 月 7 日 16:20 に子宮口が全開大し分娩室に入室した。16:35 に児頭が陣痛発作時に陰門に出現し発作間欠時に後退するようになり **A**、16:42 に陣痛発作間欠時にも児頭が陰裂に出現したままの状態 **B**となった。16:48 に 2,600g の女児を第一前方後頭位で分娩した。16:50 に胎盤は胎児面から娩出された。出生直後に大きな声で啼泣した。16:49 に啼泣があり、心拍数 130 回/分、四肢を活発に動かし、下肢にチアノーゼがみられた。

設問 1 : 下線 **A** の状態を何というか漢字で答えなさい。

設問 2 : 下線 **B** の状態を何というか漢字で答えなさい。

設問 3 : 胎盤の娩出様式を答えなさい。

設問 4 : 1 分後のアプガースコアは何点か答えなさい。

設問 5 : 新生児蘇生法 (NCPR) のアルゴリズムに従った際、B さんの児に必要な処置をすべて選びなさい。

1. 羊水をあたたかなタオルで拭きとる
2. タオルで肩枕をつくり新生児の背部のあたりに置く
3. 口腔の吸引を行う
4. 足底を刺激する
5. 酸素飽和度 (SpO₂) モニターを装着する
6. 心電図 (ECG) モニターを装着する
7. (インファント) ラジアントウォーマーを使用する

V 1～5 の臓器を答えなさい。(各 2 点, 計 10 点)

著作権の関係上公表しません